

Peace Now! 21

#5 折り鶴が届ける平和への願い【前編】

こんにちは、のんです。今回はハムハムに変わって私から「Peace Now! 21」をお届けします。Me-dia6と7では広島から平和を考えてみようと思います。Me-dia6では、特に折り鶴にスポットをあててみます。病気のお見舞いなどに使われる千羽鶴。実は一人の少女の願いがこめられた平和のシンボルでもあるって知っていましたか？

千羽鶴の元々の由来

千羽鶴の元々の由来は「長生きの象徴といわれている鶴を折ることで長生きが出来る」と言うところから来ています。その後、千羽鶴を折ることで願いがかなうというカタチで伝えられるようになり、それが原爆の子の像を生むきっかけにもなっています。

1985年8月6日

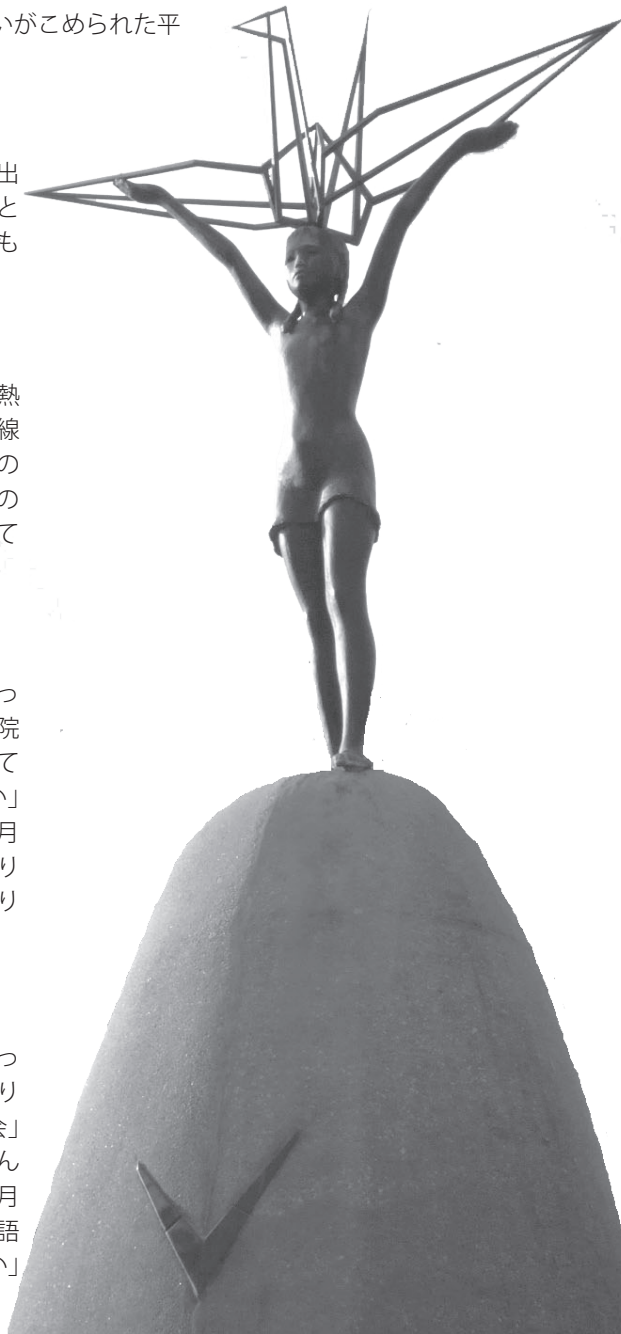
この日、広島に原爆が投下されました。爆心地から半径2km以内の地域は、熱線と火災によりすべて燃え尽くされたのです。原爆の爆風と熱線、そして放射線は人々に多くの被害を与えました。当時市内には約35万人がいましたが、一発の原爆で、その年の12月末までに14万(±1万)人が亡くなったそうです。また、この時浴びた放射能によって、後々多くの方が亡くなったり後遺症に苦しんだりしています。折り鶴の物語はこの広島が舞台です。

佐々木禎子さんの物語

佐々木禎子さんは2歳8カ月の時に広島で被爆しました。特に外傷はなくずっと普通の生活をしていましたが、12歳の時、急性白血病と診断され、すぐに入院することになりました。入院中のある日、色とりどりの折り鶴がお見舞いとして病院に送られてきました。禎子さんもそれをきっかけにして、「病気を治したい」という願いを込めて鶴を折るようになりました。薬の包みで鶴を折り続け一ヶ月足らずでその数は千羽を超えました。それ以降も「生きたい」という願いを折り鶴に託して折り続けましたが、次第に体調は悪化し、家族に見守られて亡くなりました。

「原爆の子の像」建立へ

禎子さんの死をきっかけに、禎子さんの同級生を中心として「原爆で亡くなった子どもたちの霊を慰め平和を築くための像をつくろう」という運動が始まりました。市内の各学校の生徒会を中心とした「広島平和を築く児童生徒の会」結成され、全国に呼びかけて広く国内外から募金が寄せられました。禎子さんの死から1年後には平和記念公園内への設置が決まり、二年半後の1953年5月5日、「原爆の子の像」除幕式が行われました。その後「禎子と折り鶴」の物語は絵本や映画など様々な形で国内外に広がり、折り鶴は「再び被爆者は作らない」決意の証、平和のシンボルとして折り続けられています。



原爆の子の像

「原爆の子の像」は「千羽鶴の塔」とも呼ばれ、年間1千万羽以上の折り鶴が捧げられています。像の頂上には折り鶴を捧げ持つ少女のブロンズ像が立ち、平和な未来への夢を託しています。側面左右には二体の少年と少女の像があり、明るい希望を象徴しています。像の下に置かれた石碑には右記のような碑文が刻まれています。塔の内部には、少年少女たちの気持ちに感動したノーベル物理学賞受賞者である湯川秀樹博士の筆による「千羽鶴」、「地に空に平和」の文字が彫られた鐘がつけられ、その下につるされた金色の鶴は風鈴式に音がでるようになっています。

折り鶴から広がる平和の輪

原爆の子の像に集まった折り鶴のうち2002年から1年間のものが現在旧日銀広島支店(被爆した建物)に展示されておりその数は約1万束(1千万羽)以上。日本全国にとどまらず、海外から送られたものも多く見受けられます。実際にたくさんの鶴や添えられたメッセージの中に立つと、一つ一つの小さな想いが集まって、大きな一つの平和への願いとして伝わってきました。



これはぼくらの叫びです
これは私たちの祈りです
世界に平和をきずくための

2005.08.06

広島へ行ってきました!!

生協では毎年Peace Now!Hiroshimaという企画があります。全国から多くの学生や生協関係者が参加し、昨年は80人以上の参加者が平和について考え交流しました。そこで見たり聞いたり学んだりしたことはMe~dia7で詳しく紹介します。

このとき、名古屋大学から1500羽(東海その他の生協とあわせると6000羽以上)の折り鶴を「原爆の子の像」に届けました。これらは組合員の皆さんから生協の店舗で集めたものです。最初は集まるか不安だったけど、自分の周りにも平和を願う人がたくさんいるということを知ることができて少しうれしくなりました。今年も折り鶴を広島に届けたいと思います。その時はぜひみなさんも鶴を折ってくださいね。



名古屋大学 平和憲章エッセイ 募集中

まだまだ

名古屋大学平和憲章は1987年2月5日に大学構成員(学生・院生・教職員・生協職員)の過半数の賛同署名によって全構成員の名において名古屋大学が二度と戦争に加担しないことを宣言したものです。名大生協ではこの名古屋大学平和憲章の精神を新入生をはじめ多くの学生・院生の方々に引き継いでいくことを目的に平和憲章エッセイを募集します。

みなさんが平和憲章を読んで感じたこと・考えたことを募集します!

- 応募資格■ 名大生協の組合員である学生・大学院生であれば、誰でも応募可能!
- 募集メ切■ 二次締切: 6月30日(金)
- テーマ■ 自由(1000字~1600字程度)。必ず名古屋大学平和憲章を読んだ上でエッセイを書いてください。
- 応募方法■ 1)名大生協北部厚生会館2階 組合員コーナーに直接提出する。
2)下記の宛先に郵送する。
〒464-0814 名古屋市千種区不老町1
名古屋大学消費生活協同組合 「憲章エッセイ」係
下記webページより応募用紙をダウンロードして添えてください。
- 審査員■ 名大生協理事長を審査委員長とし、名大生協理事会で審査をします。
- 結果発表■ 各生協店舗にて掲示し、入選者には直接連絡します。
- 問合せ先■ 名大生協理事会 TEL:052-781-1111 (または学内線7540)
E-mail: kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

詳細・平和憲章エッセイ本文・応募用紙は↓↓↓へ。

http://www.nucoop.jp/committee/peace_essay0605

賞品

入選(1名)

「オキナワの旅(8/28~9/2)」

「オキナワの旅」は生協オリジナルのツアーです。沖縄の自然を満喫するだけでなく沖縄戦の傷跡にふれたり、米軍基地の現状を知ったりできます。離島ならではのマリンスポーツもオプションとして用意されています。最優秀賞(入選)を受賞した方の賞品として、「オキナワの旅」の旅費を全額援助させていただきます。

佳作(5名) 図書カード5000円分

参加賞(応募者全員) 食堂利用券400円分

- 回収した個人情報、入選のご連絡などこの企画に関する目的以外で使用しません。また、名古屋大学生協の個人情報保護基本方針に基づき、厳重に管理されます。
- 応募作品の著作権は応募者に、使用権は名古屋大学に帰属するものと、無償で発表・印刷されることがあります。

名古屋大学消費生活協同組合

文責:のん

水といえば、川の流れるのが好きです。実家にいた時は相模川に見に行ったりしていました。浮浪者が川の近くに住まわれているので、ほけーっとしていると警察に声をかけられたりもします。愛知県だと新幹線から見た限りでは、矢作川がよいです。波の感じと所々にできる渦の感じがよいです。(みっくす)